

日記『小野のふるさと』

真澄三十一歳の時、天明五（1785）年、一月初めから四月末日までの日記。

『秋田のかりね』に続く日記で、この二冊が初期の秋田滞在記である。

前年の初冬から滞在した湯沢市柳田の草薙家を拠点にし、湯沢城下の山田家、岩崎の石川家に頻繁に滞在して近郊を廻った。

雪深き時節から雪解けになるまでの民俗、風習を記した。

小野小町の旧跡を訪ね、小町に関する伝承を記した。院内鉾山を訪れた。

（文献）

原典…菅江真澄「小野のふるさと」（大館市立栗盛記念図書館所蔵）

翻刻本…内田武志・宮本常一編集『菅江真澄全集』第一巻（未来社）

現代訳（1）…内田武志・宮本常一編集『菅江真澄遊覧記』第一巻（東洋文庫）

現代訳（2）…細川純子「註釈『小野のふるさと』」（『真澄学』第三巻）